

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2008-200749(P2008-200749A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-165779(P2007-165779)

【国際特許分類】

B 2 3 K 26/00 (2006.01)

B 2 3 K 26/06 (2006.01)

B 2 3 K 26/073 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

B 2 3 K 101/40 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 26/00 H

B 2 3 K 26/06 J

B 2 3 K 26/073

G 0 9 F 9/00 3 3 8

G 0 2 F 1/13 1 0 1

G 0 2 F 1/1343

G 0 9 F 9/00 3 5 2

B 2 3 K 101:40

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザー光を発振するレーザー光発振器と、

レーザー光遮断部、第 1 のスリット部、第 2 のスリット部を備え、前記レーザー光の光路内に配置されるスリットユニットと、

を備えるレーザーリペアシステムであって、

前記レーザー光遮断部は照射されるレーザー光を遮断する部分であり、前記第 1 のスリット部及び前記第 2 のスリット部は照射されるレーザー光を透過させる部分であり、

前記第 1 のスリット部は、前記第 1 のスリット部を透過したレーザー光の光量が前記第 2 のスリット部を透過したレーザー光の光量よりも大きくなるように形成されていることを特徴とするレーザーリペアシステム。

【請求項 2】

前記第 2 のスリット部は、前記第 1 のスリット部の外周に沿って設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 3】

前記レーザー光遮断部は、

第 1 の開口部を有する第 1 のレーザー光遮断部と、

第 2 の開口部を有する第 2 のレーザー光遮断部と、
を備え、

前記第 1 のレーザー光遮断部と前記第 2 のレーザー光遮断部は交差状に配設され、前記第 1 のスリット部は前記第 1 の開口部と前記第 2 の開口部とが重なり合う領域により限定されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 4】

前記第 1 のレーザー光遮断部は、
第 1 のプレートと、
前記第 1 のプレートから一定の距離離れて配設された第 2 のプレートと、
を備え、
前記第 2 のレーザー光遮断部は、
第 3 のプレートと、
前記第 3 のプレートから一定の距離離れて配設された第 4 のプレートと、
を備えることを特徴とする請求項 3 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 5】

前記スリットユニットは、前記第 1 のレーザー光遮断部及び前記第 2 のレーザー光遮断部の位置を変化させる駆動部をさらに備えることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 6】

前記駆動部は、
前記第 1 のレーザー光遮断部に接続されて、前記第 1 のプレートと前記第 2 のプレートを第 1 の軸方向に移動させる第 1 の駆動部と、
前記第 2 のレーザー光遮断部に接続されて、前記第 3 のプレートと前記第 4 のプレートを第 2 の軸方向に移動させる第 2 の駆動部と、
を備えることを特徴とする請求項 5 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 7】

前記第 2 のスリット部は、前記第 1 のレーザー光遮断部を形成する前記第 1 のプレートまたは前記第 2 のプレート、前記第 2 のレーザー光遮断部を形成する前記第 3 のプレートまたは前記第 4 のプレートのうち少なくとも一つのプレートに設けられたスリットを備えることを特徴とする請求項 3 ～ 6 のいずれか 1 項 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 8】

前記第 2 のスリット部は、長方形のホールからなることを特徴とする請求項 7 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 9】

前記第 1 のプレート、前記第 2 のプレート、前記第 3 のプレート、前記第 4 のプレートのいずれかのプレートには、長方形のホールからなるスリットが設けられ、前記長方形のホールは各々離間していることを特徴とする請求項 7 または 8 に記載のレーザーリペアシステム。

【請求項 10】

前記長方形のホールは、異なるサイズを有することを特徴とする請求項 9 に記載のレーザーリペアシステム。